

# スポーツ推進委員セミナーに参加して



上尾市スポーツ推進委員連絡協議会 館石 浩

埼玉県スポーツ推進委員の皆様におかれましては、日々、市民の皆様と共に活躍のこととお喜び申し上げます。

セミナーに参加し日頃より思っていたこと、感じたことを記載させていただきます。

スポーツ基本法の施行に伴い、体育指導員はスポーツ推進委員に改称されました。

年齢、性別、障害等を問わず、広く人々がスポーツに参画出来る環境になりました。

スポーツ推進委員の中堅層に対する期待は、大きいと思います。

何よりも資質の向上が問われると思います。

資質の向上には、セミナー等の研修会に参加することが一番だと思っています。

参加し全てを吸収することは不可能ですが、一つでも二つでも覚え地域及びセミナーに参加出来なかった他のスポーツ推進委員に展開出来れば幸いと思います。

また、この場で知り合った仲間との「絆」も将来大きな財産になると思います。

上尾市スポーツ推進委員連絡協議会も新人が多くなりました。新人に積極的に声を掛け一人でも多く参加して頂く様、努めていきたいと思っています。

古くから親しまれてきた「体指（タイシ）」もスポーツ推進委員と改称されました。

改称に伴い心機一転、頑張りたいと思っています。

今後もセミナー等の計画があれば、積極的に参加したいと思っています。



寄居町スポーツ推進委員協議会 小澤良江

私は平成25年度よりスポーツ推進委員の委嘱を受け、今回スポーツ推進委員セミナーに参加しました。セミナーでは、スポーツ推進委員活動が全国で行われていること、スポーツをする人・観る人・支える人を重視していること、スポーツで出会いの場を作ることや、スポーツを通じて全ての人が幸福で豊かな生活を営むことができる

社会を目指して活動していることを知り、私もその一員になれたことにワクワクしました。また、自分が地域で活動するうえで、何ができるのかを考えていきたいです。

公認体力テスト判定員講座では、基本を短時間で分かりやすく教えていただき、住民の方に良い結果を出してもらうお手伝いをする大切さを学びました。寄居町で体力テストを実施した際には、講習のおかげで自信をもって参加者に説明することができました。また、結果についても雑談を交えながら説明し、とても楽しい時間を過ごせ、スポーツ推進委員になって良かったと感じました。

他にもスポーツ推進委員の活動には、スポーツを通じた元気な町づくりとして、日常生活の中で楽しみながら行える「ながらスポーツ」を普及したり、スポーツフェスティバルや駅伝などのイベントへの運営協力、生涯スポーツの充実を図ったり、オリンピック招致への協力などもありました。後日、オリンピックの日本開催が決まり、私も何か協力できたらうれしいです。

これからスポーツ推進委員として活動していくうえで、セミナーで学んだことを参考にし、初心を忘れず頑張っていきたいと思っています。





## 「第1回研修会」に参加して

坂戸市スポーツ推進委員会 白田育雄

スポーツ推進委員1年目の平成25年、埼玉県スポーツ推進委員協議会 第一回研修会に参加させていただきました。

「講座Ⅰ・キネシオテーピング」では、講師川田氏のキネシオテーピングとの出会いや様々なエピソードを交えての講習に引き込まれました。キネシオという言葉は初めて耳にしたので、何か特殊なテープを使うのではと予想しましたが、一般的な伸縮テープの切り方や引っ張り方でカラダを整える自然療法と知り、しっかり身につけようと思いました。テーピングの実践では、肩痛の人ということで、川田氏にテーピングを施していただきました。子どもの頃からピッチャーをしていた事もあり、少し筋肉が多い所を触られながら、療法前と療法後の具合を診ていただきました。グッと力が入るのが自分でもはっきりわかりました。帰宅して早速家族に施したところとても好評でした。肩以外の部位も施せるように続けたいです。

「講座Ⅱ・さいかつぼーる」では埼玉葛地区（東部支部）が考案したおもしろいスポーツを体験しました。基本ルールはソフトバレーに近いのですが、おにぎり形のボールでゲームが始まると、サーブ～ワンバウンド～レシーブ～ワンバウンド～クリアー～ワンバウンド～…苦戦しました。頭ではわかっているのにバウンドさせるのを忘れてしまったり、返ってきたバウンドがイレギュラーでクリアーできなかつたり。翻弄されっぱなしでいつのまにかゲームに夢中になっていました。機会があれば地元でも取り入れてみたいスポーツだと思いました。有意義で楽しい研修会に参加させていただきありがとうございました。



## 「第2回研修会」に参加して

春日部市スポーツ推進委員協議会 今井 進

平成26年2月1日に第2回研修会が開催されました。今回のテーマは障がい者スポーツに関する講義及び体験でした。

午前「全国スポーツ推進委員研究協議会・和歌山大会の報告」後、北京パラリンピック団長・埼玉県障害者スポーツ協会副会長の久保 春美先生による「障がい者スポーツへの関わり・スポーツ推進委員の役割」と題しての講義がありました。初めに「障がい」を、生活機能（心身機能・構造、活動、参加）に何らかの制約を受けている人とし、従来の概念より幅広くとらえる2001年にWHOで採択された概念を説明されました（これによると高齢者も障がい者と捉えられています）。

午後の実技では車椅子バスケットボール、ボッチャ、卓球バレーの3種目を体験しました。ボッチャと卓球バレーはそれなりに理解できましたが、車椅子バスケットボールは、まず車椅子の操作が非常に難しく大変苦労しましたが、講師の方々の親切な指導の下に、有意義な体験をさせていただきました。

今回の研修を通してスポーツ推進委員のアダプトドスポーツへの関わり方の指針を得ました。これを今後生かして行ける活動をしてまいりたいと思います。





## ファミリー健康体力向上事業にあたって

三芳町スポーツ推進委員連絡協議会 岡本 雅男

平成25年9月15日、三芳町総合体育館において健康・体力測定会を開催しました。

普段「スポーツトレーニング」をしている人は成果を確認する為、「スポーツトレーニング」がまだの人達には運動を始めるきっかけにと、それぞれの体力状態を確認しあい、日常生活の中で家族揃ってスポーツに親しむ習慣を身につける事により、進んで健康の保持増進、体力の維持管理に努めるきっかけになる場を提供するとともに、スポーツ振興事業の普及および生涯スポーツの推進が図れればと例年企画し開催しています。

今回、県下四市一町が選ばれ、私たちは近隣の富士見市・ふじみ野市のスポーツ推進委員の協力を得て開催の運びとなりました。

測定会に備え、8月31日に埼玉県スポーツ推進委員協議会よりコーディネーターとコーディネーター補助（2名）を迎えアドバイザー養成講習会を受講しました。

講座はファミリー健康体力向上事業の目的から始まり実技まで分かりやすく、受講者全員よく理解し本番に備える事ができました。最後に修了証を受け資格認定を取得しました。

測定会当日は朝から雨模様の為、参加者の出足が危ぶまれましたが、お昼頃には雨も止み大勢の参加者となりました。

参加者は例年行っている身体測定・体力測定に加え、ファミリー健康体力向上事業の項目を行い『あなたの健康体力表』に示された実年齢と体力年齢を確認し、ニコニコする人、もっと頑張ろうとする人、様々な思いで測定会は進み、最終的には300名を超える参加となり盛況の内に終えることができました。

